

《Lesson 4》 主格の関係代名詞が入る文

主格の関係代名詞が入るフレーズは「1つの大きな名詞」として扱われ、文の中では主に「主語」や「目的語」として使われます。また、

文の種類 (be 動詞の文、一般動詞の文、助動詞の文など) のルールをそのまま使って、
関係代名詞のフレーズを文章に入れていきます！

【be 動詞の文】

<肯定文> The lady who (that) is sitting next to the president is your boss.

(社長の隣に座っている女性が、あなたの上司です)

<否定文> The lady who (that) is sitting next to the president is not your boss.

(社長の隣に座っている女性は、あなたの上司ではありません)

<疑問文> Is the lady who (that) is sitting next to the president your boss?

(社長の隣に座っている女性が、あなたの上司ですか?)

【一般動詞の文】

<肯定文> He wants batteries which can be charged.

(彼は、充電できるバッテリーを欲しがっています)

<否定文> He does not (doesn't) want batteries which (that) can be charged.

(彼は、充電できるバッテリーを欲しがってはいません)

<疑問文> Does he want batteries which (that) can be charged?

(彼は、充電できるバッテリーを欲しがっているのですか?)

【助動詞の文】

<肯定文> She will buy the book which was written by Mr. Suzuki.

(彼女は、鈴木先生によって書かれたその本を買うつもりです)

<否定文> She will not (won't) buy the book which was written by Mr. Suzuki.

(彼女は、鈴木先生によって書かれたその本を買うつもりではないです)

<疑問文> Will she buy the book which was written by Mr. Suzuki?

(彼女は、鈴木先生によって書かれたその本を買うつもりなのですか?)

ポイント！関係代名詞が入る文にも時制の一致の例外があてはまる

前回学んだ「名詞を説明する that」同様、関係代名詞も話し手の意図をはっきりさせるため「時制の一致」を受けないことが多いです。つまり、以下の形もOK となります。

<例> He met a American woman who likes Japan movies.

(彼は、日本の映画が好きなアメリカ人の女性に会いました)

→ 彼が会ったアメリカ人の女性は、今も日本の映画が好き

I bought some books which are popular in Canada.

(私は、カナダで人気の本を買いました)

→ 私が買った本は、今もカナダで人気

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。